

# 『エネルギー医学・量子生物学』解説講座

アメリカの医師リチャード・ガーバーによる『バイブレーション・メディスン』(日本教文社)は、“見えな  
い身体”を含めて、物質もエネルギーの視点からとらえて各種療法を解説していますが、この講座ではヒーリングの源(リソース)になる、エネルギー、情報(インフォメーション)について、フロンティアサイエンスの最新知見を紹介する3つの作品からそのエッセンスを解説します!

## <3つの作品の紹介>

- \*『フィールド 響き合う生命・意識・宇宙』  
リン・マクタガート、野中浩一訳、河出書房新社  
～イギリスの医療ジャーナリストによる、エネルギーの海・フィールドについての迫真のレポート。ルパート・シェルドレイク、カール・プリブラムなどが掲載。
- \*『エネルギー医学の原理 その科学的根拠』  
ジェームスL・オシュマン、帯津良一監修、エンタブリイズ～なぜ種々のエネルギー療法が効くのかを科学、医学の観点から経絡や結合組織などの情報伝達経路を説き明かして解説した力作。
- \*『量子力学で生命の謎を解く』ジム・アル＝カリー、ジョンジョー・マクファデン、SB Creative～エネルギー医学の基盤となる「量子生物学」の知見が満載されている画期的な待望の名著。

## ◎申し込み方法

件名を「エネルギー医学講座申込みの件(氏名)」とし、下記の項目をメールまたはファックスして下さい。振込みをもって正式受付となります。

- ① 講座名②日程③氏名(ふりがな)④住所⑤連絡先(当日つながる電話番号)⑥メールアドレス

- 受講料: 5,000円 (3時間)
- 講師: 降矢英成(赤坂溜池クリニック院長)
- 対象はどなたでも。「バイブレーション・メディスン」からさらに踏み込んで「インフォメーション・メディスン(情報医療)」を学びたい方に
- 日程:  
2/28(水)19:00～22:00  
3/17(土)14:00～17:00

## <エネルギー医学・量子生物学のポイント>

- \*インフォメーション(情報)とは?  
バイブレーションは、実は“情報”の側面がもっとも重要だと言われており、生体は、自然やセラピストから、さまざまなバイブレーション/情報を受けとっています
- \*情報の海“フィールド”とは?  
この空間の異次元には、「情報の海」ともいわれている“フィールド”があり、ここには情報だけではなく“ゼロポイント・エネルギー”と呼ばれる無限のエネルギーが存在するといわれています
- \*脳の働きとは?  
例えば“記憶”は、脳の局所ではなく、脳全体で行なっていることがわかり、脳はパソコンでいえば「本体」ではなく「端末装置」のような位置づけとされています
- \*生体マトリックスとは?  
生体は“半導体”的であるといわれ、パソコンに匹敵するほど情報伝達に適した構造をもっています。その機能を担っているのが支持組織とされてきた「結合組織」を中心とした“生体マトリックス”といわれる構造です

- 主催・お問い合わせ: (有)ホリスティックヘルス情報室  
Eメール: hic@a7.rimnet.ne.jp FAX: 03-5572-8219  
URL: <http://holistichealthinfo.web.fc2.com/index.html>

- ◎お振込先  
三菱東京UFJ銀行虎ノ門中央支店 普通5832950 (有)ホリスティックヘルス情報室

